

第54期 中間期

株主通信

(2018年1月1日～2018年6月30日)

株主の皆様へ

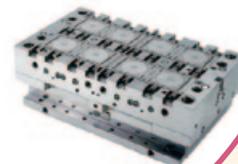
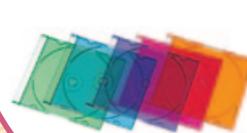
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2018年12月期の中間期株主通信をお届けいたします。

企業理念

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」



PRODUCT MOTHER

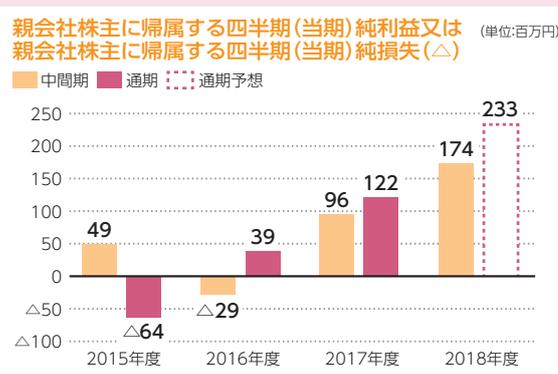
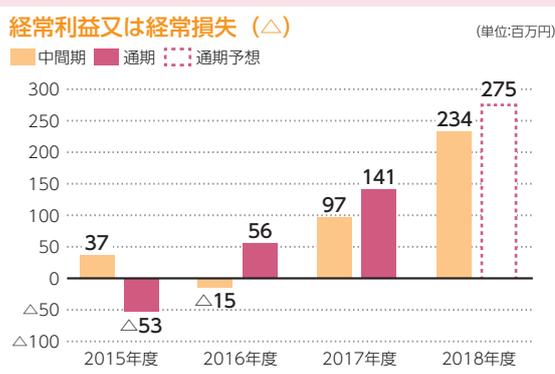
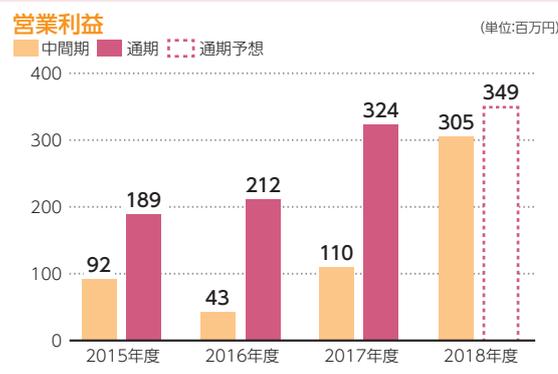
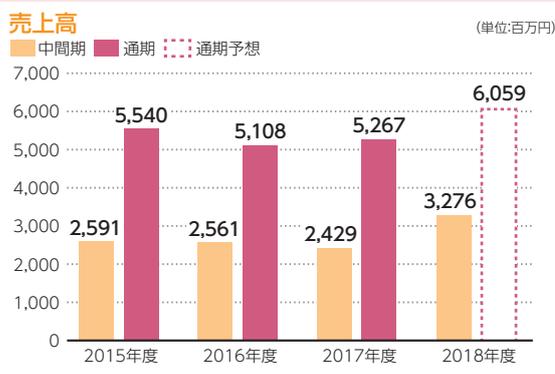


不二精機株式会社



証券コード：6400

連結財務ハイライト



概況

2018年度中間期の売上高は、精密成形品事業では自動車用部品を中心にタイ市場で順調に拡大し、前年同期比2億19百万円増(13.3%増)の18億69百万円となりました。精密金型事業では前期から売上がずれ込んだ受注があった影響もあり、前年同期比6億28百万円増(80.6%増)の14億7百万円となりました。売上高合計としては、前年同期比8億47百万円増(34.9%増)の32億76百万円となりました。

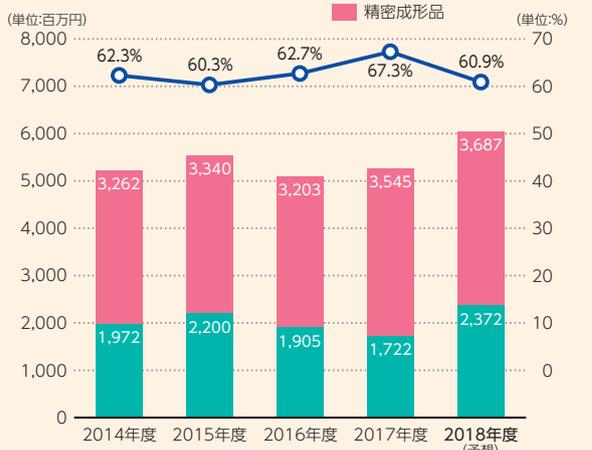
営業利益は、精密金型事業での大幅な増収と精密成形品事業の着実な拡大により、前年同期比1億95百万円増(177.3%増)の3億5百万円となりました。

経常利益は、インドネシアルピア安による為替評価損38百万円(前年同期は44百万円の為替評価益)が発生しましたが、昨年締結したシンジケートローン契約により、支払利息が半減したことなどから、前年同期比1億37百万円増(141.2%増)の2億34百万円となりました。

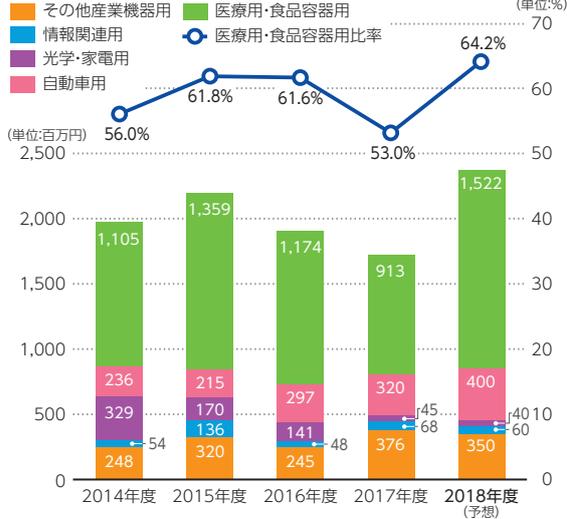
親会社株主に帰属する四半期純利益は、生産性向上のための設備投資に対応して旧設備の除却36百万円を実施したことなどにより、前年同期比78百万円増(81.3%増)の1億74百万円となりました。

2018年度通期は、中間期までの増収増益の流れを受け、通期予想以上の増収増益を目指して参ります。

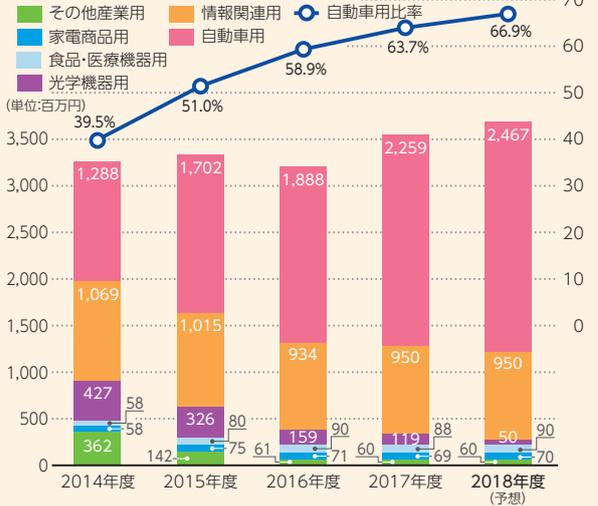
事業セグメント別売上高推移



精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年度以降、売上高全体の60%を超えて推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成形品事業(下記精密成形品事業<<分野別>>資料をご参照ください)で計画しております。

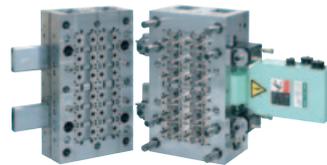
2018年度につきましては、精密金型事業での前期からのずれ込みおよび精密成形品事業での増産による売上高の増加を目指しております。

精密金型事業<<分野別>>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器用関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動および製造原価構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【注射器用金型】

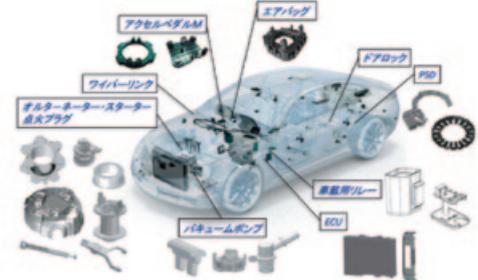


精密成形品事業<<分野別>>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車用部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質管理体制のレベルアップを着実に実施し、増加した受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

【4輪車関連の受注部品例】



地域別

地域別の売上高は、2013年度以降、海外売上高の比率が50%を超えて推移しております。

タイ・インドネシア市場では自動車用部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

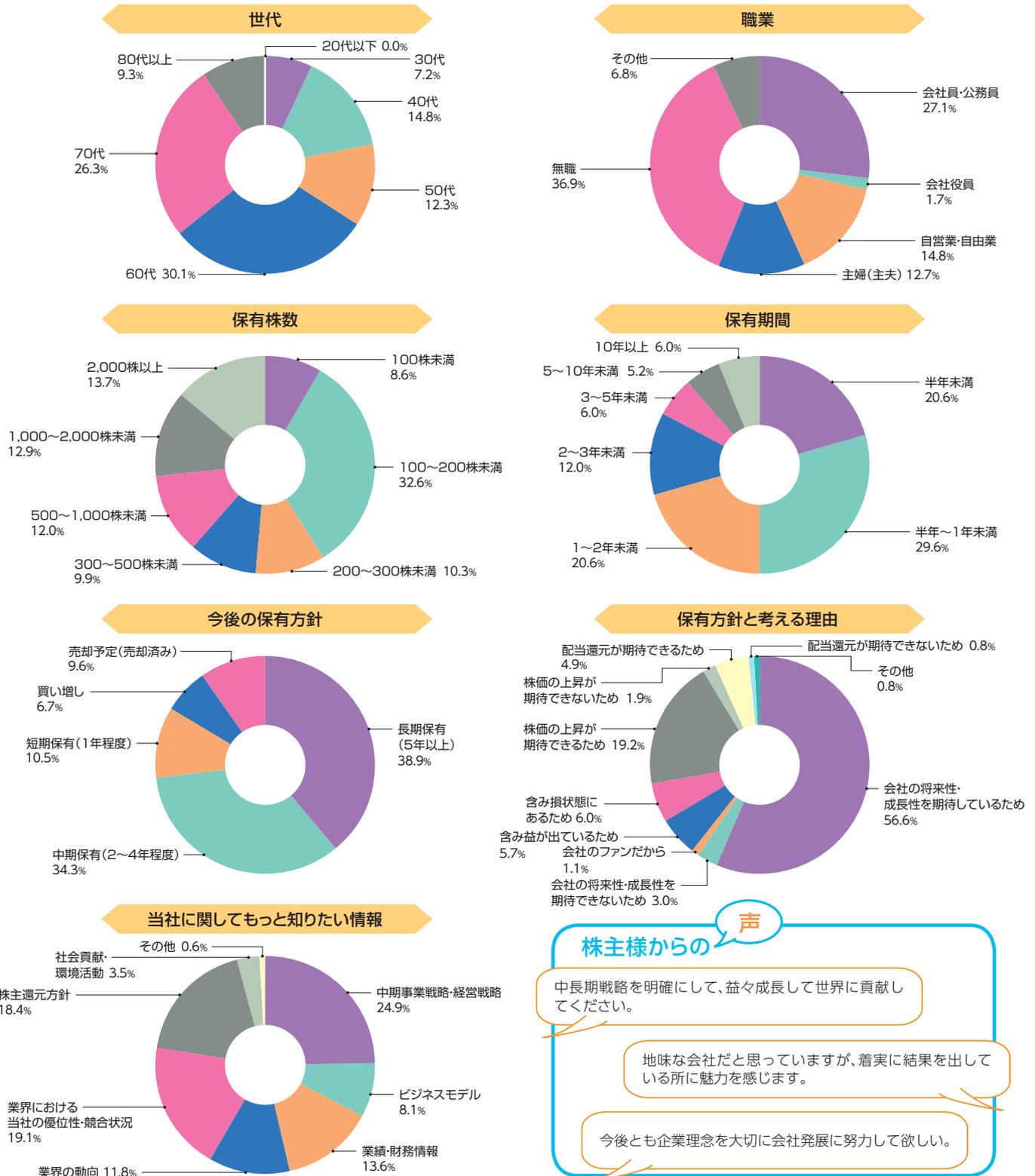
日本市場では精密金型事業で医療用関連分野を中心に、精密成形品事業でブルーレイディスク用などのディスクケース製品で安定的な売上を確保しております。

中国市場では人件費の高騰の影響もあり、人員削減・自動化などによる固定費の圧縮で一定の利益の確保を目指し、規模の拡大は計画しておりません。

株主様アンケート結果のご報告

株主の皆様のご意見を伺うため、第53期「株主通信」にて初めて株主の皆様へのアンケートを実施させていただきました。その結果、252名の株主様からご回答が寄せられました(回答率6.1%)。お忙しい中ご協力いただきまして、心よりお礼申し上げます。

ここに、お寄せいただきましたご回答の集計結果の一部を報告させていただきます。当社では、皆様からの貴重なご意見を今後の活動に反映させるべく努め、今後とも企業価値の向上に取り組んで参ります。



当社の事業は、1955年の創業以来続く高精度のプラスチック成形品の製造に不可欠な精密金型事業(個別受注した金型の製造)および2001年の上場を機に開始いたしました当社の金型技術を活かすことができる精密成形品事業(プラスチック成形品の大量生産)で構成されております。

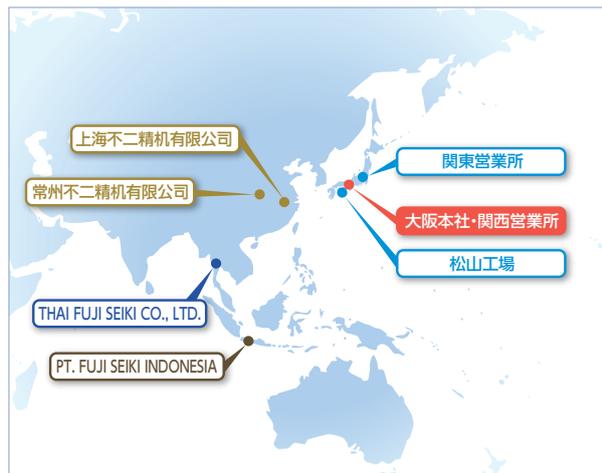
いずれの事業においても当社の製品は一般の市場で販売されるものではなく、不二精機が何の会社か分からないというお声を伺うことが多くあります。今回実施いたしましたアンケートを参考にさせていただき、地道な事業の拡大とともに株主様をはじめ関係者の皆様に当社の事業、今後の方向性などをより分かりやすくご説明する活動を続けて参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会社概要

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	107名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

ネットワーク



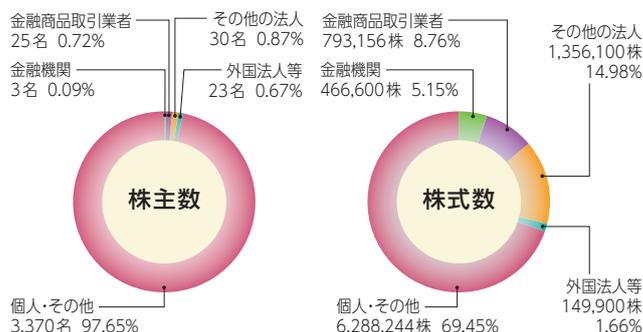
役員

代表取締役社長	伊井剛
取締役副社長	宮崎正巳
専務取締役	山本幸司
取締役	藤本由数
取締役(社外)	高橋秀昭
常勤監査役	菅一明
監査役(社外)	梅田浩章
監査役(社外)	橋本豊嗣

株式の状況

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	3,451名

株式所有者別状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日

単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.fujiseiki.com/
------	---

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com/>



トップページ

IR情報ページ